



大日本塗料株式会社

・大阪市中央区南船場 1-18-11 (06)6266-3135
 ・東京都大田区蒲田 5-13-23 (03)5710-4501
 ・名古屋市中区金山 1-12-14 (052)332-1701



アクアマイティエポ#1000

- 樹脂系 水系エポキシ樹脂下塗塗料
- 規格 社内規格
- 特徴
 - 水系の非危険物該当塗料であり、上水道での希釈、洗浄が可能である。
 - 防錆性に優れた水系一液エポキシ塗料である。
 - 亜鉛メッキ鋼板、アルミ材、鉄材への付着性に優れる。
 - ウレタン系、アクリル系、アルキド系、メラミン系等上塗り適性に優れる。
 - 日本建築学会材料規格 JASS 18 M-111 水系さび止めペイント 品質適合
 - ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (登録番号D02333)

4. 塗料性状

項目		内容	
容姿		1液性	
荷姿		16 Kg	
色相		ライトグレー	
光沢		艶消	
密度 (20°C)	塗料	1.40±0.05	
	揮発分	1.00±0.05	
粘度(20°C)		73±5 KU/ストマー	
不揮発分		60±5%	
乾燥時間	温度	20°C	60°C
	指触	20分	3分
	硬化	2時間	30分
標準膜厚		30~40 μm	
引火点		-	
発火点		-	
爆発限界(下限~上限)		-	
貯蔵安定性		12ヶ月	

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 塗膜性能

項目	成績	試験方法
物性	ゴバン目	100/100
	耐衝撃性	合格
耐水性	合格	1mm×100目セロフ 剥離 残存数
	合格	テュボン式 1/2インチ×500g×50cm
耐塩水噴霧性	合格	240時間 20°C 水道水浸漬
	合格	著しい白化、膨れを認めない
耐複合サイクル 防食性	合格	360時間 35°C×5%NaCl
	合格	カット部片側 錆・膨れ1.0mm以内
合格	2次密着剥離カット部片側1.0mm以内	
合格	36サイクル JIS K 5674の6.11	
合格	膨れ、はがれ、錆を認めない	

ペント钢板(溶剤脱脂)を使用 30~40 μm 塗装
 80°C×20分→23°C×7日間乾燥後、各テスト実施

8. 関連法則

危険物表示	-
有機溶剤区分	-
有害物表示	アクリルモノマー
毒劇物表示	-
その他表示	-

5. 塗装基準

項目		内容		
下地処理		ブラスト、溶剤脱脂、化成処理		
塗装方法		刷毛塗り、エアースプレー、エアレスプレー		
希釈用シンナー		水道水		
塗装	塗装方法	刷毛塗り	エアースプレー	エアレスプレー
	希釈率	0~5%	5~15%	0~10%
	目標膜厚	30~40 μm	30~40 μm	30~40 μm
エアレス塗装条件		1次圧4Kg/cm ² 以上、2次圧120Kg/cm ² 以上 チップ No. 163-413~415		
塗装間隔	温度	20°C	60°C	80°C
	最小	2時間	30分	20分
	最大	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月

- (注) ①塗装間隔が1ヶ月以内でも、屋外に保管された被塗物は、被塗面の汚れ、及び付着阻害因子を除去し塗装すること。
 (層間剥離予防)
- ②上塗に焼付 130°C以下タイプ、2液ウレタン、2液エポキシ塗料を使用の場合、上塗との塗装間隔が2時間/20°C以上に為る様に、管理対応のこと。(残留水分の悪影響防止)
- ③被塗物温度60°C以上の強制乾燥を行う場合、セッティングを15分/20°C以上行うこと。(塗膜ワキ防止)
 強制乾燥後の被塗物温度は、35°C以下に冷却後上塗を実施のこと。(上塗時ワキ防止、レベリング不良防止)

7. 施工上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去すること。
- 使用時には十分に攪拌して均一な塗料状態にすること。
- 希釈には必ず[水道水]を使用する。
 洗浄に関しても[水道水]にて洗浄可能だが、乾燥した付着物は有機溶剤にて洗浄のこと。
- 他種塗料との混合は、避けること。(性能が低下する)
- 湿度85%RH以上での塗装は避けること。
 (乾燥不良、ダレ等の不具合が発生する)

9. 使用上の注意 [警告]

使用上の注意、緊急時の処置等の詳細は、容器ラベルに表示